

(現 地 調 査 あ り)

令 和 8 年 度

業 務 番 号 繰 流1下委 第 6 号

岩木川流域下水道 効率的雨天時浸入水対策計画 調査 業務委託

特 記 仕 様 書

1. 設計図書に対して質問がある場合は、中南県土整備事務所下水道課あてに質問書を令和8年5月13日12時00分までに提出してください。
2. 回答書は令和8年5月15日12時00分までにFAXで回答します。
3. 回答は、質問書を提出した会社を含め全体に通知します。
4. 質問書提出以外の問い合わせには回答いたしません。
【電話による質問や来所での質問等は、ご遠慮願います。】

弘前市 大字 津賀野外 地内

青森県中南県土整備事務所

第 1 章 総 則

第 1 条 共通仕様書等の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「設計業務等共通仕様書」「測量業務共通仕様書」(令和 7 年 10 月 1 日以降適用) によるほか、特記仕様書、「雨天時浸入水対策ガイドライン(案)」(国土交通省、令和 2 年 1 月)に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第 2 条 委託業務日数又は履行期限

1. 業務日数 日

2. 履行期限 令和 9 年 3 月 24 日

第 3 条 照査技術者

本業務については照査技術者を設置すること。

第 4 条 業 務 内 容

第 2 章 業務内容を参照のこと。

第 5 条 打ち合わせ等

業務着手時、業務の主要な区切り及び業務完了時において行う打合せは、4 回とする。

業務の主要な区切りは、浸入水発生領域絞り込み調査時、絞り込み調査結果の評価・分析時とする。なお、業務着手時及び業務完了時の打ち合わせには、管理技術者及び照査技術者が立ち会うものとする。

第 6 条 設計業務計画

本業務における業務計画書は、第 1 回打ち合わせ後、速やかに提出するものとする。

第 7 条 資 料 の 貸 与

・令和 5 年度 岩木川流域下水道効率的雨天時浸入水対策計画調査業務委託 報告書

貸与する図書及びその他の関係書類は、別途打合せにより決定する。

第 8 条 履 行 報 告

受注者は、契約書第 15 条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

第 9 条 「参考資料」

特記仕様書の外に提示する「参考資料」は、指名参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

第 2 章 業 務 内 容

1. 基本作業の確認

基本作業の確認では、対象区域及び作業方針の確認、作業スケジュール、調査にあたっての留意点、要望事項等の確認を行う。

2. 基礎調査

2. 1 資料収集・整理

本業務に必要となる資料の収集・整理を行う。なお、過年度業務において資料収集整理を行っていることから、過年度業務の成果品の確認とそれ以外で必要となる資料収集を行うこと。

2. 2 現地調査

本業務で実施する絞り込み調査に必要となる現地調査を実施する。

2. 3 まとめと照査

「2. 基礎調査」に係る技術的照査を行う。

3. 雨天時浸入水の原因把握

3. 1 調査手順の検討

過年度業務の成果に基づいて、当該調査を実施するための作業計画書を作成・提出するとともに、現地作業に必要となる道路使用許可の申請等の対応を実施する。

3. 2 浸入水発生領域絞り込み調査

・調査地点及び調査手法

調査地点の概要図は別図のとおりであり、各調査地点の調査手法を表 3.1 に示す。

なお、絞り込み調査の詳細地点は現時点では候補地点であり、現地における確認結果を踏まえて発注者と調整の上確定させること。また、調査手法のうち、流量計については水位・流速を測定する方法を想定しており、水位計については圧力式・超音波式等、当該地点の水位を確実に把握するとともに、流量観測地点（4 地点）と比較が可能な流量へ換算するものとする（流量換算結果の妥当性を確保する）。

表 3.1 各調査地点の調査方法

調査候補地点	幹線名	管径 (mm)	調査方法		設置箇所
			水位計	流量計	
岩木川浄化センター	岩木・弘前幹線	—	—	—	(岩木川浄化センター既設流量計を活用)
i-1	板柳・藤崎幹線	φ 500	○	—	流域幹線
i-2	黒石・藤崎幹線	φ 1500	—	○	流域幹線
i-3	黒石・藤崎幹線	φ 1350	—	○	流域幹線
i-4	黒石・藤崎幹線	φ 1000	—	○	流域幹線
i-5	浪岡・田舎館幹線	下流 φ 700	○	—	市町村の管渠
i-6	浪岡・田舎館幹線	下流 φ 700	○	—	市町村の管渠
i-7	大鰐・田舎館幹線	φ 900	—	○	流域幹線
i-8	大鰐・田舎館幹線	φ 700	○	—	流域幹線
i-9	大鰐・田舎館幹線	φ 700	○	—	流域幹線
i-10	大鰐・田舎館幹線	φ 600	○	—	流域幹線

・調査期間

調査期間については 60 日とし、降雨が多く発生することが確認できている 7 月、8 月、9 月を含む期間に調査を実施する。

・測定間隔

絞り込み調査の測定間隔は 5 分ピッチとする。

・雨量データ

雨量データについては、測定位置近傍の雨量観測データ（気象庁観測データ等）を活用する。

3. 3 絞り込み調査結果の評価・分析

(1) 絞り込み調査結果の整理

調査結果については、後述する作業を実施するために降雨と雨天時浸入水の関係性が把握できるよう調査結果を整理する。

(2) エリア別の浸入率の確定

前項で実施した絞り込み調査及び過年度業務で算定した浸入率の整理結果を踏まえて、エリア別の浸入率を確定する。

(3) 雨天時浸入水の要因推定

本業務で実施した絞り込み調査結果及び過年度業務の検討結果を踏まえ、各エリアにおける雨天時浸入水の要因を推定する。

(4)優先順位の設定

(1)～(3)の整理結果を踏まえて、本業務で調査した11地点における今後の優先順位の設定を行う。

3. 4 まとめと照査

「3. 雨天時浸入水の原因把握」に係る技術的照査を行う。

4. 報告書の作成

以上の結果をとりまとめ、報告書を作成する。

● そ の 他

- － 1) 完成検査の予定については、実施予定の前月15日までに予定日を調査職員に報告のこと。
- － 2) 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- － 3) 本業務は、受発注者協力のもと、建設業の働き方改革推進のため、ウィークリースタンス等の推進を図ることとし、下記の事項について業務着手前に受発注者間で共有し、業務を進めていくこととする。

1. 打ち合わせ時間の配慮

打ち合わせは、勤務時間内におこなう。

2. 資料作成依頼の配慮

資料作成依頼は、休日等に資料を作成しなければならない状況が発生しないよう十分に配慮する。

3. ワンデーレスポンスの再徹底

問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

- － 4) 本業務では、情報共有システムを利用することを原則とする。

なお、システムの利用に適さない場合は、調査職員との協議によりシステム利用の対象外とすることができる。

情報共有システム利用基準 <整備企画課HP>

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

第 3 章 成 果 品

第 1 条 成果品の提出

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

1. 報告書

(1) 電子媒体 (CD-ROM) 2 部

(2) 紙媒体 (簡易なファイルにとじたもの、図面含む) 2 部

2. その他

(1) 現地調査写真集 2 部(報告書電子媒体に含む)

設計業務等に関する提出書類一覧表

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	業 務 工 程 表	契 約 後 14 日 以 内	1	3 条
建設管理課	管 理 技 術 者 通 知 書	契 約 後 遅 滞 な く	1	10 条
調査職員	業 務 履 行 報 告 書	毎月 1 回、調査職員の指定日	1	15 条
調査職員	完 成 届	業 務 を 完 了 し た と き	1	32 条
調査職員	業 務 成 果 引 渡 書	引 渡 の と き	1	32 条
調査職員	請 求 書	引 渡 の と き	1	33 条

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	照 査 技 術 者 通 知 書	設計図書で定められている 場合、契約後遅滞なく	1	11 条
建設管理課	管理(照査)技術者変更通知書	変 更 の 都 度	1	10 条・11 条
調査職員	貸 与 品 借 用 書	貸 与 時	1	16 条
調査職員	貸 与 品 返 還 書	返 還 時	1	16 条
調査職員	履行期間の変更請求書	変更を必要とするとき	1	23 条
調査職員	部 分 使 用 同 意 書	発注者が部分使用を請求したとき	1	34 条
調査職員	指定部分に係る（又は、引渡 部分に係る）業務完了報告書	設計図書に定められた期日	1	38 条

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	業 務 計 画 書	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1	1112 条
調査職員	業 務 打 合 簿	そ の 都 度	1	(契)2 条 (仕)1110 条他

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	担 当 技 術 者 届	担当技術者を定めた場合	1	1109 条
調査職員	担 当 技 術 者 変 更 届	そ の 都 度	1	1109 条
調査職員	照 査 報 告 書	業 務 完 了 後	1	1108 条
調査職員	身 分 証 明 書 交 付 願	必 要 な 時	1	1116 条
調査職員	事 故 報 告 書	事 故 が 発 生 し た と き	1	1132 条
調査職員	新 技 術 活 用 計 画	NETIS 登録技術の活用を希望するとき	1	1139 条
調査職員	活 用 効 果 調 査 票	業 務 完 了 後	1	1139 条
調査職員	生 産 性 向 上 提 案 書	後段階の設計において 一層の生産性向上の検討の 余地が残されている場合	1	1209 条

青森県中南県土整備事務所長 殿

FAX

工 事（業務） 名 岩木川流域下水道効率の雨天時浸入水対策計画調査業務委託

*質問がない場合は、提出の必要はありません

FAX 0172-32-7987

受 領 確 認 書

令和 年 月 日

青森県中南県土整備事務所長 殿

担当： 下水道課 木村

F A X： 0172-32-7987

会社名

氏 名

電 話

FAX

工事（業務）番号 繰流1下委第6号

工 事（業務） 名 岩木川流域下水道効率的雨天時浸入水対策計画調査業務委託

上記工事（業務）の回答書を受領しました。